

小中学校OSL線量計 第1回測定結果

学校名	測定個数	期 間	平均値		
			期間内積算線量(mSv) (A)	1日あたりの線量(mSv/日) (B)	年間換算値(mSv/年) (C)
三春小	306	7月12日から9月7日までの57日間	0.19	0.0033	1.22
岩江小	208	7月11日から8月31日までの51日間	0.27	0.0053	1.93
御木沢小	76	7月11日から8月29日までの49日間	0.23	0.0047	1.71
中妻小	71	7月12日から9月1日までの51日間	0.20	0.0039	1.43
中郷小	61	7月13日から9月1日までの50日間	0.16	0.0032	1.17
沢石小	66	7月14日から8月30日までの47日間	0.23	0.0049	1.79
要田小	52	7月14日から8月30日までの47日間	0.17	0.0036	1.32
三春中	178	7月12日から9月5日までの55日間	0.20	0.0036	1.33
岩江中	99	7月11日から9月6日までの57日間	0.29	0.0051	1.86
桜中	39	7月12日から9月1日までの51日間	0.17	0.0033	1.22
沢石中	33	7月14日から8月30日までの47日間	0.21	0.0045	1.63
要田中	42	7月14日から8月30日までの47日間	0.18	0.0038	1.40

※希望する小中学校の児童・生徒にOSL線量計を配付し、その積算線量を町で測定した結果です。
今回は、夏休みが生活の中心となっています。

※測定した積算線量には、自然放射線量も含まれています。東京電力福島第一原子力発電所事故以前から、日本では平均で、1年間に大地から0.38ミリシーベルト、宇宙線から0.29ミリシーベルトの自然放射線を受けていると言われています。(文部科学省パンフレット「放射線と安全確保」2009年3月発行より)

※線量計の使い方については、学校と家庭が協力して、より子どもの生活に即した測定になるよう指導していく必要があります。

※三春小学校は、9月6日、7日の2日間で測定していますが、測定期間は9月7日までの57日間としています。

※測定装置: microStar読取装置(長瀬ランダウア株式会社)

○計算式

1日あたりの線量(B) = 期間内積算線量(A) ÷ 期間日数 (mSv(ミリシーベルト)/日)

年間換算値(C) = 期間内積算線量(A) ÷ 期間日数 × 365 (mSv(ミリシーベルト)/年)

参考: 1mSv(ミリシーベルト) = 1,000μSv(マイクロシーベルト)

(例) 0.0033mSv = 3.3μSv